

# 「授業づくり」における洞北中スタンダード構想図

1時間(1単元)

授業形態のイメージ(例) **個人→ペア→グループ→(個人・ペア・異なるグループ)個人→全体**

学び直し	導入	展開	振り返り	共有
------	----	----	------	----

「わかる授業」づくり5つのポイント

洞北中スタイル 思考の外化「話す」「書く」「発表する」 → 知の更新

## アクティブ・ラーニングの視点

### 主体的な学び

興味や関心を高める	見通しをもつ	自分と結び付ける	粘り強く取り組む	振り返って次につなげる	未知の学習に挑む	
-----------	--------	----------	----------	-------------	----------	--

### 対話的な学び

互いの考えを比較する	多様な情報を収集する	思考を表現に置き換える	多様な手段で説明する	先哲の考え方を手掛かりとする	共に考えを創り上げる	協働して課題解決する
------------	------------	-------------	------------	----------------	------------	------------

### 深い学び

思考して問い続ける	知識・技能を習得する	知識・技能を活用する	自分の思いや考えと結び付ける	知識や技能を概念化する	自分の考えを形成する	新たなものを創り上げる
-----------	------------	------------	----------------	-------------	------------	-------------

<b>学び直し</b>	<b>導入</b>	<b>展開</b>	<b>振り返り</b>	<b>共有</b>
前時の復習 学びの足跡 小テスト	具体物 ICT 実験・観察 具体物	思考ツールの活用 思考の視覚化(コミュニケーションボード) ICT ワークシート	ノート ワークシート コミュニケーションボード	コミュニケーションボード 成果物 発表の機会

主体的・対話的で深い学びを実現する授業の創造

「話す」「書く」「発表する」を中心に据えた洞北中スタンダードの確立